

自強会だより

変わらぬ伝統と文化

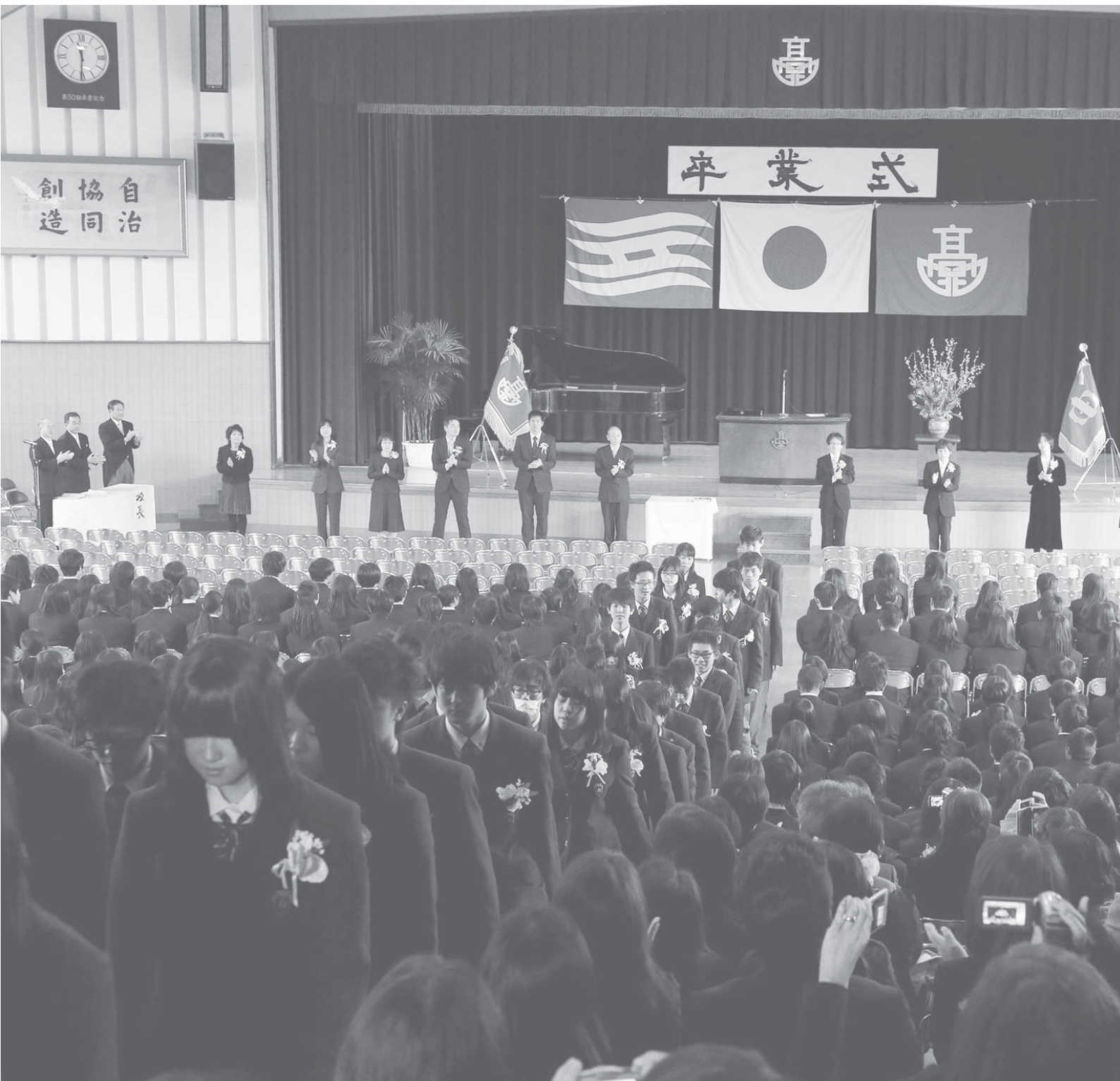
今も

第23号



てんこう けん みずか つと や
天行ハ健ナリ。君子以テ自ラ彊メテ息マズ

中国古典「易経」より（自彊の由来）



第 67 回 卒業式

「文」「武」とも道半ば

学区再編を機に飛躍を！



同窓会会長

竹内 信 六 (高13回)

会員の皆さまにおかれましては、ご清祥の事と存じます。いつも同窓会活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、3月の高校入試において、27年度から兵庫県全体の学区再編が行われ、明石地区は加印・北播地区と統合されて、第3学区となりました。地元の中学生は、受験できる高校が明石7校(明商含む)から25校(明商含む)に拡大されたという事です。こうした大きな変革は、学校の評価が大きく上下する時でもあります。つまり、母校にとってはチャンスでもあり、ピンチでもあるということです。新校長として着任された永井邦治先生(高27回)の手腕に、大きな期待を寄せるところです。

母校が明確な旗印を掲げ、荒波を乗り越えようと懸命に努力をされているこの時期、同窓会が傍観者でいることは許されるものではありません。会則第2条の目的には、「母校の発展に寄与する」と掲げられています。「会員相互の親睦を

図る」とともに、母校支援を充実させることが同窓会活動の基本と認識し、全力を投入したい、そんな想いで一杯です。しかしながら、微力である私一人の力では何もできません。会員の皆様のご理解とご協力をいただき、これまで以上の母校支援を行いたいと考えます。

母校では、先生方の熱心なご指導により、国立大合格者数が過年度生を含め50人台(23年度は77人)で推移しています。また、卒業時には、「明高に来てよかった」と満足度も非常に高い、と聞いています。我々に出来る母校支援が満足度を更に上昇させるよう取組みを強化したいと思います。また、学年同窓会の開催も多くなってきており、美術科、東京など支部活動も活発となってきています。ただ「活動の活性化は会計を苦しくする」のが現実です。今回から会費納入に郵便局だけでなく、コンビニも利用できるようにしました。同封の資料をご覧ください。つき、会費納入にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

もくじ

会長あいさつ	1
新校長あいさつ	1
平成27年度総会案内	2
ひととき	2
自彊不息	3
進路状況	4
大学合格者の声	5・6
部活動報告	7
部活成績・記録	7
学年同窓会交歓	10
支部だより	15
部活動同窓会	16
明中・明高ゴルフ会	16
13回同窓会	17
関東地区同窓会	18
自彊セミナー報告	19
人事異動	20
決算報告・事業報告	21
お悔み・役員表	22
入会あいさつ	23
事務局より	23
編集後記	24

いまぞ 集え 競え 誓え

第23代校長 永井邦治(高27回)



自彊会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にお過ごしのこととお喜

び申し上げます。

このたび、濱田前校長のあとを受けまして母校の校長を拝命しました永井でございます。どうぞよろしく願っています。

私は、昭和47年に明石高校に入学しました。中部講堂での緊張した入学式や上級生による校歌・応援歌の指導、生徒総会、明高祭をはじめとする学校行事など、自由自治の精神にあふれる明高は本当にすごいなと感動を覚え、この学校に身を置くことに誇りを抱いたものです。それだけに、このたび明高で勤務できることを大変うれしく思いますとともに身の引き締まる思いもあります。

私が2年生の時に創立50周年を迎えましたが、それから40年余りが経過し、一

昨年には90周年の記念式典が執り行われました。この間、総合選抜入試制度の導入、美術科の創設、複数志願選抜入試制度の導入と特色選抜入試の実施、そして学区の拡大と高校教育改革が進められる中で、本校は歴史を積み重ねてきました。そして今後、100周年に向けて新生明高のますますの発展が期待されているところです。

そのためには、これまで教職員、同窓会、PTA、地域の皆様が丸となって取り組んでこられた様々な教育活動を進化・発展させていかねばなりません。

校歌にある「集え・競え・誓え」、私はこの歌詞が大好きです。ここ自彊が丘に集いし者が、建学の精神である「自彊不息」のもと、日々切磋琢磨しながら自己を高め、社会に貢献しうる人材として成長できるよう努めて参りたいと思えます。微力ながら母校の発展に全力で取り組む覚悟ですので、同窓の皆様にはよろしくご指導ご支援のほどお願い申し上げます。

平成27年度総会のご案内

左記にありますように、定例総会を開催いたします。多数ご出席頂き、忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。

記

- 期日 平成27年6月20日(土)
- 時間 午前10時(受付は9時45分より)
- 会場 生涯学習センター学習室3 (アスパシア北館8階)
- 次第 ①会長あいさつ ②議案審議 ③質疑応答 ④その他

※会場は母校ではありませんので、ご注意ください。

※会場は母校ではありませんので、ご注意ください。



ひととき

『風に立つライオン』をご存じの方は多いだろうと思います。これは、歌手さだまさしさんが1987年に歌を発表、その後小説になり、今年映画化されました。アフリカの太鼓のリズムが聞こえ、それから演奏に重なるようにアメイジング・グレイスの合唱、さださんの語りかけるような歌。その内容は一大叙情詩だと思えます。

その一節に、――やはり僕たちの国は残念だけれど、何か大切な処で道を間違えたようですね――というのがあります。アフリカの美しい自然や大地での生き物の営みが、ありありと目に見えるような歌の中で、この一節はとても胸が痛くなるのだけれど、同時にうなずいてしまうのです。

昭和という高度経済成長期から国の進むべき道を少しずつまちがえてきたのだとしたら、今、行き着くところが大きくずれてきたことに憂いを感じているのは、団塊と呼ばれる世代が多くを占めていることでしょう。でも大切にしてきたものも確かにあります。「平和を守る」ということです。

時の流れは遡ることはできなくても、少しずつまちがえてきた方向を、少しずつ修正することはできると思っています。若い人たちは、美しい日本の四季に感動する心を持ち、真理を見極める力をつけて、日本の歩むべき道を正しく導いてほしいものと願っています。

(幸)

自彊不息

このコーナーは、各界で活躍されている方、自分の夢を追い続ける個性的な方を紹介するものです。

東日本大震災被災地・南三陸町へ 診療支援に車で延べ54回通う

明石・飯村医院 院長

医師 飯村 一誠氏 (高22回)

東日本大震災から丸4年が過ぎた。震災発生直後から宮城県南三陸町で医療支援にあたり、自身の医師がおられる。自身の医師の診察を終えてから、月に一度、車で1000kmの道のりを10時間以上かけて…。使命感溢れる原動力は何なのか、お尋ねした。

(聞き手は竹内信六会長)

【医療支援に行こう、とすぐ実行された動機は何なのですか】



阪神・淡路大震災(死者6434人)から20年が経ちました。あの時、自身の医院が半壊しまして、その再建に大変でした。明石市をはじめ、すぐ近くの自治体の住民が大変な被害を受けているのに、支援に行けない事に医師として忸怩たるものがありましたので…。

【まず、最初に行かれたのは】
兵庫県医師会から派遣され、平成23年

5月に石巻市の中学校へ。同医師会が学校の1室を借り救護所を作っていました。ここで軽症の方の診察や避難所回りをしました。次にネットで日本登山医学会が石巻日赤病院の外來軽症部門で支援しているのを知り、7月の週末を一度担当しました。この時はテント持参でした。

【南三陸町との出会いは】

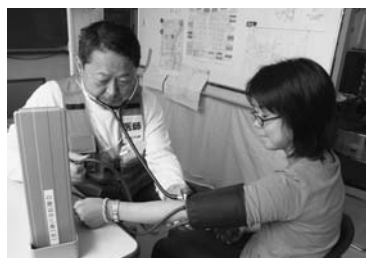
9月です。同町には公立志津川病院と6つの開業診療所がありました。15kmを越える津波で壊滅しました。直後にイヌエルが医療団を派遣していました。同団が撤収した後、プレハブ6棟を譲り受け、4月に外來部門として志津川病院南三陸診療所を再開していました。

【大震災発生当時の公立志津川病院は、どのような状態だったのでしょうか】
4階一部5階建て(126床)で4階の天井部分まで流されたようです。入院患者106人のうち67人と看護師らスタッフ4人の計71人が一瞬にして亡くなりました。

【その後はどのような診療体制がとられ、飯村先生は、どのように支援されているのですか】
南三陸診療所が再開したため、同町から35km離れた登米市立よねやま診療所の旧棟部門を借り受け、6月に公立志津川病院(38床)が再開しました。しかし、遠距離の2カ所に管理先が分散し、それを管理する常勤医師の疲弊が目に見えていました。負担が少しでも軽くなれば、と9月から月1回、車で金曜日の夜に出発、土曜日の午後から月曜日の朝まで日・当直をし火曜日には自院で診察をしている、というスケジュールです。土、日曜日は医師が手薄なのです。食事と宿泊所は提供していただけますが、それ以外は

全くのボランティア活動です。

【遠距離でするので、途中でくじけそうになられたことは…】
正直、ありません。しかし、「助かります」と、周りの医師に声をかけられ、「ありがとうございます」と患者にお礼をいわれるのが励みになりました。



【今後の予定を聞かせて下さい】
新しい志津川病院が元あった所の近くの高台に建設中で、今年12月中旬に完成する予定です。だから、私の医療支援もそれまでと考えています。延べ54回、足を運ぶことになるでしょうか。

【医師になろうと思われたのは、いつ頃からですか】
父が医師だったので、付属小、中の頃から自然に、そう思っていました。

【高校時代のクラブ活動は】
3年間、放送部でした。機械をいじるのが好きでしたので…。

【大学はどちらですか】
東京医科大学です。専門は外科です。

【どのような学生生活を】
軟式テニス部と無医地区活動をしていました。本日は登山とバイクに興味があったのです

が親から禁止されていました。万が一、事故に遭った場合、多くの方に迷惑をかけるから…、ということでしょう。大学もエベレストの4800mの所に高山医学研究所を設置していますので、登山は大好きなのですが…。加藤文太郎モデルにした新田次郎「孤高の人」は愛読書の一つです。

【座右の銘を教えてください】

座右の銘というふうな気の利いたものは持っていませんが、毎月御邪魔している宮城県のお隣福島県の民芸品に「起き上がり小法師」があり、それを見るにつけて「七転び八起き」、決して諦めないという言葉が浮かび好きな言葉の一つです。

【後輩たちに何かアドバイスを】

勉強、スポーツともっと頑張れ、とエールを込めて言いたい。それと機会があれば、見返りを求めないボランティア活動に積極的に参加してほしいです。被災地にボランティアで行かれた生徒もいると思いますが、現地に行かないと「臭い」はわかりません。テレビを見ているだけでは伝わってきません。

☆取材を終えて

東日本大震災が発生した時は60歳。このほど64歳になられたばかりだが、骨格ががっしりしておられ、相手を直視する大きな眼差しは大変優しい。「1000kmなんて、時速100kmで走れば10時間でしょ。最も休憩は取りますが」という言葉に限りない逞しさを感じた。
(現地での医療支援の写真は、飯村医師の提供)(3月11日現在の死者・行方不明者は18483人)

伝統



選抜大会出場

男子ソフトボール部顧問

稲垣 馨

男子ソフトボール部

明石学区では、小学生対象のソフトボールクラブが複数存在します。そのようなクラブや軟式野球を経験した者が多く、生徒主体の練習で、基礎というよりは実戦の中で力を伸ばすことを行ってきました。

6月の県総体では一回戦日生第三高校にコールド勝ちした後、準決勝では、シールド校で優勝候補の東洋大姫路高校に1対0で辛勝しました。この試合に勝利したことにより、兵庫県二位以内が確定しました。残念ながら、決勝戦では滝川高校に1対2で惜敗し、インターハイ出場は逃しましたが、三年ぶりに近畿大会に出場することになりました。

近畿大会では、一回戦京都代表の南陽高校にコールド勝ちした後、準決勝では大阪府代表の清風南海高校に1対3で惜敗し、近畿三位で終了しました。

そこに至るまでの紅白戦、練習試合においては、終盤までのリードを守りきれず、または守備の乱れから大量失点して敗戦するケースが多くありました。チームとしての転機は、3月末に行われた但

馬研修会(練習試合)であったと感じています。今までやってきたことをすべて発揮し、大阪府の強豪校の上宮高校に勝利しました。この大会を機に、生徒は自信をつけて、チームとしての纏まりが生まれ、チーム力が格段にアップしたように感じています。



新チームで臨んだ11月の新人大会では、総体で敗戦した滝川高校に9対0でコールド勝ちし、準決勝でも育英高校に11対0でコールド勝ちしました。決勝戦は、実力は互角であると思われる山崎高校に9対1で勝利し、県大会で優勝することができました。三試合を通じて、守備の乱れは殆ど無く、打線の繋がりによって大量得点で勝利しました。気を引き締めて3月21日から行われる

ソフトテニス部

平成27年度へ向けて

ソフトテニス部顧問

上月 賢 司

全国選抜大会に挑みたいと思っています。今までソフトボールを教えて下さった先生や先輩、周りの友人や保護者の皆さんに感謝の気持ちを持ち、全国大会で実力を発揮し、完全燃焼できるように頑張りたいと思います。

平成26年の総体では、女子ソフトテニス部が団体戦で近畿大会に出場しました。奈良県明日香村テニスコートにおいて3年生最後の試合ができたことは嬉しく、また誇りに思います。また、新チームで臨んだ秋の新人大会では関谷文梨・一ノ谷愛美ペアが東播女子個人戦で出場百30ペアの中三位に入賞するなど3年生の力を引き継ぎ頑張っています。男子においては、3年前の全国大会に出場して以来団体戦では地区大会でなかなか勝ちきれず苦しい思いをしてきましたが秋の新人戦では個人戦団体戦ともに県大会へ勝ち進み復活の兆しが見えてきました。卒業生が築いてきた強豪明高の伝統を3年生、2年生そして1年生が着実に受け継いでいます。

3年生が引退し、現在男子20名、女子10名の部員で活動しています。『気が利き、人に愛される者になる』ことを目標に日々練習に励んでいます。テニスコートが3面という決して多くないコート環境の中ですが、男女の硬式・軟式テニス

部の部員の練習は、活気に溢れています。ソフトテニス部では、少ないコートで時間が制限されている中で常に練習方法や生徒の練習への動機づけに試行錯誤しています。例えば、定期考査中のトレーニングをいかに意識させるか。普段の練習の中で実践に近く内容の濃いメニューは何か。その1本の重さをいかに意識するか。様々な考え方や方法がありますが、意識が変わることで試合での動きが変わり、試合での結果が変わります。また、隠れたトレーニングの積み重ねや成功体験で自信を持ち始めます。その繰り返し、人間性やテニスの実力も向上させていくと思います。周囲の方々に応援され愛される部員になれるよう今後も努めていきたいと思えます。今後どうぞよろしくお願いたします。



平成26年度卒業記念 2015年3月 兵庫県立明石高等学校 ソフトテニス部

剣道部

平成26年度を振り返って

剣道部顧問

寺井 雄

平成26年4月1日から、部員一同新たな気持ちでスタートを切りました。当初は戸惑いもあったと思いますが、生徒自身のやる気と目標達成への思いを共有し、日々活動してきました。県総体では、男子団体戦において準決勝まで進み、育英高校に惜しくも敗れたものの第三位、女子団体戦においては準々決勝で須磨学園高校に敗れベスト8の成績を残しました。また女子個人戦において、小西未織が準決勝まで進み、勝てば全国大会出場という試合で先に一本先取するも取り返され第三位、男子個人戦では梶原洋次がベスト8、井上晶太がベスト16という結果を残しました。近畿総体においても男子団体戦において、近年敗れ続けていた清風高校(大阪)に勝利し、ベスト16に進出しました。一本にかける執念、気迫を全面に押し出した記憶に残る試合を生徒たちはしてくれました。

3年生が引退し、1・2年主体の新チームがスタートしました。少ない人数の中、これまでの先輩の活躍に続けと、剣道に対する思いはこのチームに負けないものを持って日々の稽古に励んでいます。剣道部の活動の目的は「剣道を通した人間の成長」、目標は「全国大会出場」です。全力で勝利を目指して努力する中から人間的な成長も生まれるのであって、妥協した中途半端な取り組みからは何も

生まれない、と考えています。自分が勝つためには何が必要か、さらに良くなるためにはどうしたらいいのか、という事柄を悩み考える、その取り組みが自分自身を成長させます。そのように自分を自分でさらに良い方向に持っていくとする態度が、勉強等にも確実に活きてくると思います。剣道をする自分、勉強をする自分、でも根幹の部分は同じ自分、物事にどう取り組んでいくのかという所に重きを置いて、日々鍛えています。



新チームでは、東播新人大会で男子団体戦優勝、女子団体戦第三位、男子個人戦においては高尾芳貴が優勝しました。県民大会では女子団体戦においてベスト8に進出したものの、県新人大会では男女共ベスト16という悔しい結果に終わりました。この結果を受け、来たる最後の

総体で自分たちの思いを形にするために、日々の努力を積み重ねていくところです。目標を達成するために全力で努力する、その厳しさの中に「楽しさ」を見出しながら、これからも精進してくれることを期待します。

「ゴールド・金賞!!」

音楽部顧問

古川 大輔

閉会式でのその一言に会場の一面から悲鳴に似た歓声が起る。アンサンブルコンテスト東播地区大会。昨年の先輩たちの雪辱を後輩たちが果たした瞬間だった。

アンサンブルコンテスト。一般の人にはあまりなじみがないかもしれないが、夏のコンクールと並び、吹奏楽における冬の一大イベントである。合奏形式ではなく、3人から8人という少人数で指揮者もなく演奏する。指揮者がいない分、息を合わせることが難しい。また、少人数で演奏するため一人ひとりの役割が否が応でも大きくなる。広いステージにわずか8人で立つプレイヤーたちはいつもより激しい緊張感に襲われることになる。

平成26年12月26日、舞台上に立った8人の少女たちには心に秘めた思いがあった。「今年は絶対に金賞を獲得して県大会に進む。」クラリネットのアンサンブルチームは二〇一一年、二〇一二年と連続で地区大会を勝ち進み県大会に出場していた。ただ、一昨年度の67回生が主体で出場し

た大会では、地区で本命視されながらも緊張のためか本番ではミスが目立ち悔し涙を流す結果に終わった。練習はしてきた、自信もあった、しかし結果は残酷なものだった。先輩たちの悔しさを間近で見ていた1年生(現3年生)は、同じ舞台上に立っていた者も客席で固唾を呑んで観ていた者も、ともに涙を流すと同時にその時先輩たちの思いを受け継いだ。早朝から放課後遅くまで本番を想定した練習を重ね、万全の準備をして今大会に臨んだ。その成果は見事に花開いた。

アンサンブルの練習は個人のスキルを飛躍的に向上させる。クラリネットチームは自分たちが培ったものを他のパートや後輩たちに伝えてほしい。そしてより多くの人の心に響く演奏をしてほしい。それが明石高校音楽部の更なる前進に大きく貢献するはずだから。

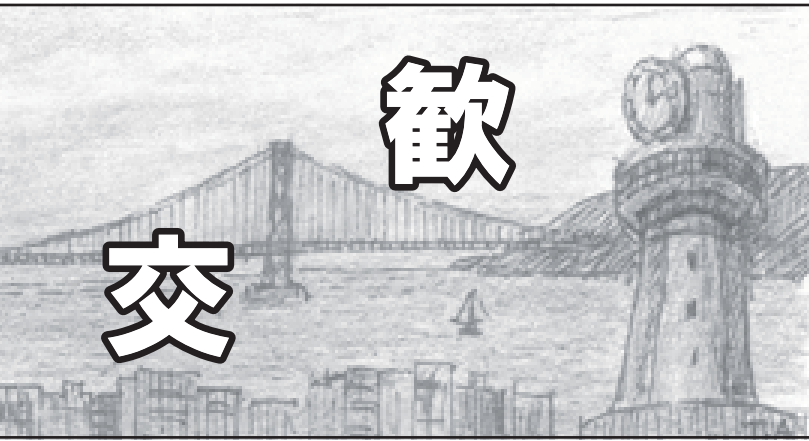


米寿の会

17・18回生の16名をご招待

平成26年度「米寿を祝う会」が6月21日、グリーンヒルホテル明石で開かれ52人の同窓生が出席、米寿を迎えられた中学17回生(昭和19年卒)3名、18回生(同20年卒)13名をお招きし、ご長寿を祝福した。

記念撮影の後、松本ヤス元会長(高2回)がお祝いの言葉を述べ、蔭山照治氏(中17回)が代表して挨拶をされた。各テーブルでは学年を越えて話に花が咲き宴もたけなわの頃、米寿の方々に記念品が贈られた。米寿の方々は蔭山氏をはじめ



イラスト・安藤 勉 (中18回)

め次の皆さん。(敬称略)
久納實、中尾和一(以上中17回)安藤勉、田中隆宏、植田弘、小松原信篤、島津和正、釈孝俊、清水秋三、田中隆一、中山龍三、橋本三男、東田昭二、久森清二、福井新(以上中18回)



なお、私事で恐縮だが、テーブルで隣席となった久納氏から篆書体で書かれた篆文心経をいただいた。和紙に般若心経が書かれており、手本は18世紀に活躍した清の鄧石如のこと。早速表装してもらい、掛軸にし、春の彼岸、お盆、秋の彼岸に床の間に掛けています。記念の品をいただいた久納氏の更なるご長寿を願っています。(竹内 信六 記)

中学二十回

杉山清巳

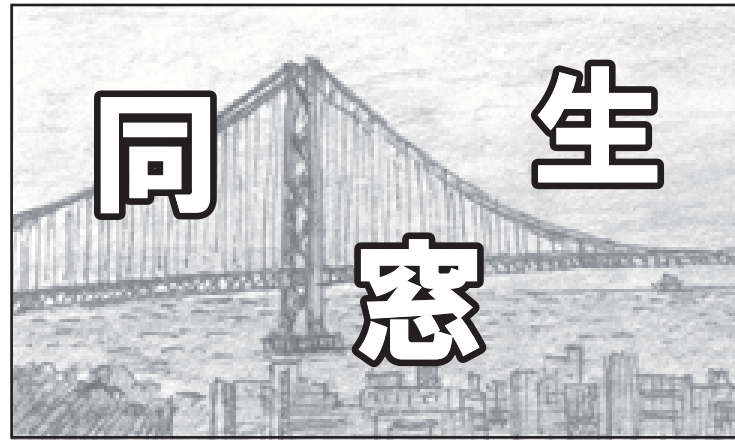
私達中20回生は憧れの明石中学校へ入学したのは昭和17年4月でした。16年12月8日に大東亜戦争が始まり西太平洋にて「米・英軍と戦闘状態に入れり」とのラヂオ放送が耳に残っている様な頃でした。

学校の制帽も戦闘帽に変わり、上級生に出会うと軍隊式に敬礼。今迄とは違う雰囲気でした。英語の授業も有り、学校の配属将校に依る軍事教練等毎日が緊張の連続でした。

2年生の終りから3年生にかけ戦争も益々激しくなり勤労動員が発令され、私達3年生は明石の川崎航空機へ動員となり飛行機造りに川航の工具さんと一緒に働く事になりました。慣れてくると工具さんと一緒に夜遅く迄作業をした事が有ります。そうこうする内に米国のB29で

の空襲も始まり、明石への空襲は昭和20年1月19日でした。同級生も4〜5人は此の空襲で亡くなりました。それからどんどん空襲も激しくなり世界で初めて原子力爆弾が広島、長崎に投下され敗戦になりました。以後の国民生活は私と同年代の方ならよくご存知の事と思います。あれから70年、同窓会を開きますと10人〜12人が集まります。平成27年も9月頃に考えています。皆様お元気でご参加下さい。





高校二回

松本 ヤス

秋晴れの文化の日に

平成26年11月3日、第22回、高2回同期会をグリーンヒルホテル明石で開催。浅田博氏の鶴の一声「3日は晴れる」と言う、自信満々の天気予報に世話人一同信頼をおき決定！しかし、当日寸前は雨天が2日続き、少しやきもきしたが、当日は予報通り快晴の天候に恵まれ、出席者一同心も晴れやかに、早くから参集してくださった。

先ずはロビーで記念撮影。80歳を過ぎるとこんなに少なくなるのかと80の坂の厳しさを実感！それから会場に戻り、浅田氏の司会で物故者の霊に黙祷、開会



の挨拶、乾杯、そして会食も始まり、隣同志の話も弾んでいたころ、テーブルスピーチが回りだした。元氣そうに見えているのにベースメーカーを入れている者、カテーターを使って手術した者、足の手術をした者など、やはり年並みにご苦労があるのだと感じた。でも言われぬ限りそうは見えない元氣さに、次も同期会開いてよとのこと。そこで米寿のお祝いの会は自彊会がしてくださるので、その時に大勢出席できるように健康には十分気をつけましょうと申し、最後に恒例の明中、明高の校歌を元氣よく歌い、解散となりました。最後になりましたが、本部からの補助金もみなに披露し感謝しました。

高校三回

桃尾 行 男



平成26年10月26日グリーンヒルホテル明石に於て女性14名男性24名の参加で3年ぶりの同窓会を開催しました。

今回は濱田校長・竹内同窓会長・吉田先生（同窓会事務局）のご臨席を賜り、

母校の現状とか昔話に花を咲かせ、特に濱田校長・竹内同窓会長には場を盛上げて頂き、濱田校長の明中の校歌の発声に、皆んなが和して若き昔の気分になりました。

二次会にも全員が集い賑やかに時の経つのも忘れ又また盛り上がりました。

80才を超え段々と出席者が減少し今回も直前に体調不良で出席を取り止め6名、返信にて計報6名、又前夜岡野茂晴君（同窓会顧問）が急死するなど名簿の空欄が増えます。時には又顔を合わせ、語り合うことを楽しみに、日頃健康に気を付けてゆきたいものです。





喜寿記念

高校八回

山崎 英明



思いがけない大型台風襲来で影響が心配だったが、足早で通り過ぎたので、平成26年10月15日の同窓会は、62名参加のもと、無事開催することができた。

今回は「喜寿記念」としてちょっとした企画をした。青春時代の懐かしく楽しい思い出話もさることながら、喜寿ともなれば人生を振り返るのも一興と、生涯学習の様子や趣味・習い事がわかる作品の展示やステージ発表など、いかに生きてきているかをお互いに知ることを記念行事とし、上手下手は別にして参加を呼びかけた。

残念ながら当日持ち込み・持ち帰りの負担、および場所・大きさの制約があったので、参加数は期待ほどではなかったが、絵画・書道・手工芸作品、詩集や思い出の写真、仕舞やカラオケなどあって、あの人が：今まで知らなかった：と話題になり、大いに盛り上がった。

残念ながら欠席回答の中に体調不良も多くあり、開催ごとに少しずつ寂しくなるのはやむを得ないが、一方、家族の介護付きで車椅子でご出席いただいた方もあり、多くの人に感銘と勇気を与えられた。

後期高齢者ともなれば行く末を案じるようになるのは当たり前だが、それと共に「今」を意識し、充実させようとする気持が大事となる。体力が衰え故障も出てくる中で生き方が問われると感じた同窓会であった。

校歌で始まり、最後に応援歌で締め、二年後の再会を楽しみにしながら：

高校十二回

佐々木 伸一郎

同期の会を平成26年11月19日(水)、ホテルキャッスルプラザで開きました。

恩師の小倉隆興先生が相変わらずの若々しさでご臨席、森本正之先生は入院中にもかかわらず、「もう今回で最後だと思え」とお姿を見せてくださいました。

が、同期生の方は57名(女性26名、男性31名)で、前回より約20名も減少、半分覚悟していたこととは言え、淋しいことでした。

会いたくても、もうお会いできない恩師、良き友のご冥福を祈念して黙祷をささげたあと、飲み、食べ、オシャベリのいつもの楽しい時間、まさに「会えばすぐ18になる同窓会」で、みるみる昔の若々しい顔に戻っていききました。これが幹事をさせてもらう醍醐味ですね。

今回も、数人の会員から短いスピーチをしてもらいました。初めて同期の会に出席した人は最優先、後は出世した人に偏らず、静かな老後の生活の話、地域の仕事で頑張っているという話等々。半時間ほど、皆オシャベリを止めて聞き入ってくれたのが嬉しかったです。

森本先生は途中でお帰りになるということで、早めにスピーチをお願いしまし

たが、これが何と、ご病気とは思えない口調。そして最後の言葉は『次もまた来るよ』。おお、一番若返ったのは先生でした。先生、お元気で！

あつと言う間に時間が経ち、最後に我ら12回生お気に入りの「応援歌」の大合唱。一度で満足せず、もう一度高らかに大合唱でした。



高校十九回

岩澤 武

秋たけなわの平成26年10月26日(日)明高19回生の同窓会が、ホテルキャッスルプラザ(西明石)で開かれた。平成21年5月に開催した還暦同窓会から五年ぶりの再会で、123名の参加があった。

会が始まり、黙祷、世話人代表挨拶、この中で明中・明高同窓会(自彊会)から今回の同窓会を開くにあたって助成金をいただいた報告、それに関連して年会費納入のお願いがあった。次に、同窓会学年理事に新たに井上利夫氏、川井功一氏、尾谷(黒石)三枝子氏の選任が承認された。続いて、ご出席いただいた恩師の高徳雄三先生からご挨拶をいただいた後、吉川 泰先生の乾杯で歓談に入った。この同窓会に先立ち10月8日(水)、東京周辺に在住の19回生有志による関東同窓会が柏木計二氏の呼びかけで初めて開かれた。少人数であったが、47年振りとは思えないほど楽しい会になったそうである。今年10月の再会を楽しみに、さらに参加者を増やし、卒業後50年の二〇一七年には盛大に開催したいとのことである。



高校二十回

六渡 和香子

ますます元気だ！同窓会

平成27年2月28日土曜日、グリーンヒルホテル明石にて、明高20回生の同窓会を開催しました。

同窓会の開催にあたり、代表幹事の池田隆行さんの発案で、人丸神社で有志による同窓会記念礼拝を行い、同窓生の健康祈願を行いました。

20回生も65歳になりひとつの節目の年を迎え、「まだまだこれから！ますます元気だ！」とお互いに元気な姿を見せ、励まし合う元気一杯の同窓会となりました。

佐伯先生、菅野先生、前田先生、村上先生と4人の先生方も元気な姿をおみせくださいました。

お料理を頂き、お酒の進む中、同窓生の日本舞踊の披露や懐かしい高校時代の写真のスライドショーで盛り上がり、時の経つのを忘れるほど。校歌斉唱と、応援のメールで最後を締め、和気あいあいのうちに終宴となりました。

二次会の会場として用意した市内のショットバーは、押すな押すなの大盛況。溢れた人は近くの店へ。その後も、まだまだ、話し尽きない同窓生はカラオケルームに



繰り出しました。朝10時の記念礼拝に始まった同窓会は、夜遅くまでのロングランとなり、次回の再会を誓いあい、散会しました。お世話いただいた幹事や有志の皆さま、お疲れさまでした。ありがとうございます。



還暦記念

高校二十五回

瀬川 勝太郎

日時：平成26年9月14日13時より開宴
場所：ホテルキャッスルプラザ（西明石）

我々25回生は、還暦を迎えました。その記念にと学年同窓会を開催いたしました。還暦記念と云う事もあり150名にも及ぶ参加者が有り、盛会のうちに終わることができ幹事の一人として嬉しく思っています。今回は、先ずテーブルにつく席次を修学旅行等で一緒だった高校2年の時に決め、またプロのミュージシャンである崎久保吉啓君のピアノソロや垂井剛君・小林正明君等のギター演奏で女性陣のコーラス隊が昔懐かしい歌を披露すると云った余興を企画しました。さらに大切なのはご出席いただいた恩師の先生方（吉川先生・山本先生・秋里先生・衣川先生・山際先生（順不同））のスピーチで、表現の差はあるものの異口同音に、新しく第2の人生に船出する我々に励ましのエールを送って頂いたことです。このことは単に恩師と生徒と云う関係だけでなく人生の先達として歩まれてきた人生の先輩ならではのお言葉であったと理解しています。最後は、明石高校校歌・明石中学校歌を声高らかに謳い、旧応援団団員の植田建夫君がエールの音頭を取り会場は一段と盛り上がり、5年後の再会を約し最高潮のうちに終わりました。

尚、会費・お祝い金等の収支より残った幾ばくかの収益は、東北大震災・丹波地方の水害、広島地方の土石流災害等の義援金として有益に使用することが満場一致の拍手で決まりました。



高校三十回

福本 明彦

平成26年9月13日、西明石駅前ホテルキャッスルプラザにおいて恩師であります小倉先生、中尾先生そして野口先生にご臨席を賜り、平成21年以来二度目の学年同窓会を開催しました。



記念撮影の際

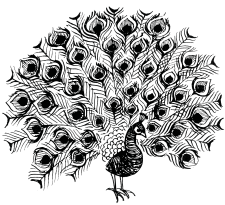
「さあ写しますよ」と言うまさにその時、「もう一人お見えになりました」と遅れてやってきた艶やかに着物を着た同窓生。本日の主役となりました。
大変身？

「仲良しのT君が来てるはずやけど。君、T君知らない。」「えっ？僕がTやけど。」「ひえり！誰か分からなかった！」
初めてのクラス会を

学年同窓会の後、あるクラスでは卒業以来初めてクラス会を開催したとか。何がきっかけになるか分かりませぬね。クラス担任も大喜びだったようです。
次回開催は？

取り敢えず、次回開催は還暦記念？と言う事。2020年、そう東京オリンピック開催年ですよ。皆さんそれまでお元気で。
感謝

クラス幹事をはじめ、沢山の方々にお手伝いをお願いしたこと心より感謝致します。



高校三十一回

吉田 信次

31回生の三回目の同窓会が平成26年5月3日、神戸ポートピアホテルで開催されました。

今回司会を引き受けてくれたのは前回に続いて馬場順子さんと、福岡から遠路参加の伊澤嘉祐君の二人。顔を合わせての打ち合わせは当日のみという中で見事な進行振り、お疲れ様でした。

「150名の出席者を！」という幹事一同の思いがあり開催日程をゴールデンウィークの真ん中に設定。結果として吉川先生、高德先生、柴原先生、安田先生の恩師を含め115名の出席でした。目標にはまだ少々物足りない参加者数となりましたが、初めての参加者も多数あり会場各所に再会を喜び合う輪が見られました。

安田先生に乾杯のご発声をお願いし、4年ぶりの同窓会は期待をもって開会されました。今回はプロジェクトを使い、懐かしい卒業アルバムや明石高校の現在の姿をスクリーンで披露するなど、新しい趣向も盛り込んでみました。母校に残る卒業記念植樹の銘板が寂しく傾いている様子を紹介し、「新しく作り直そう」という呼びかけには皆さんから大いに賛同を得ることができ、近い将来の新設を考えていきたいと思っています。

楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいお開きとなりましたが、再会を誓い合う皆さんの姿がいつまでも会場に留まって名残は尽きませんでした。次回回は4年後、卒業40周年の同窓会となる予定です。



65回生 成人記念同窓会

学年主任 山中 良秀

平成27年3月21日、約140名の参加を得て「明石高校成人記念同窓会」が行われました。なんと、今回は「土産」が付くというラッキーなこともありました。

ところで、この65回生、いろいろな所で「明高記録」を持っていきます。これまでの明高を目立たず改革？しています。まず、近い所では、今回の成人記念同窓会参加者数について、なんと同窓会事務局の参加数予想を上回り、「予算オーバー」という状況を初めてつくりました。学年団としては、それだけ多くの参加があるということでは、これほどありがたいことはないわけですが・・・。在校中には、センター試験受験者が最も多いという記録も作りました。この記録は今も健在です。学年主任は勝手に「学年通信」を発行し続け、3年間で75回という数字になりました。これは単なる自己満足ですが・・・。是非、近い回生でこれらの記録を更新して欲しいと思います。

さて、本題。式の進行は全て学年幹事の櫻井拳人君とその手伝いで澤田達夢君がやってくれました。濱田浩嗣校長先生の「先輩」としてのお話から始まり、記念撮影、そして学年団の先生方のスピーチと進みました。さらには、「懐かしの映像」を見ることもできました。そして、講堂での行事もには参加者全員で校歌

を斉唱しました。歌詞カードは用意されていましたが、参加者みんなで大きな声で斉唱しました。「明石高校が好きだ」「明石高校へ来て良かった」という気持ちが伝わりました。講堂での行事の後には、各教室へ行き、学年団の先生方も含め時間を忘れて語り合いました、短いながらも貴重な時間を過ごすことが出来たと思います。

これから大学生活後半、そして社会人となっていきますが、時にはこのような、利害関係なく語り合える場を持つことが大切だと思います。5年後、10年後・・・君たちがどのように成長しているのか楽しみにしています。再開できる時を楽しみにしています。

社会に出ると成功すること、上手くいかないこともあるでしょう。喜怒哀楽、様々なことがあると思います。でも、どのようなことがあってもあきらめてはいけません。あきらめなければ何とかなることも多くあります。明石高校は卒業生の頑張りをいつまでも見守っています。



支部だより

関東支部

野呂良久(高14回)

平成27年3月30日(月)、役員会を神戸大学東京六甲クラブにて開催、本部からの伝達事項の確認と、27年度総会開催に向けた協議をしました。

本部からの伝達事項としては、支部支援金として今年度に納入された同窓会費の25%を支給するとの事で、会費納入者数205名分の一〇二、五〇〇円を受け取り、この資金を今年度総会準備金として使用する事を決定しました。今後は、総会受付時に、会費未納者には会費納入を呼びかけ、同意が得られた場合は、その場で振込用紙にご記入いただき、後日、事務局で自彊会本部に送金するようにしたいと考えます。

次に、本年度総会について以下の通り決定しましたので、多数の出席を期待しています。

日時 平成27年9月6日(日)12時～15時
場所 恵比寿ガーデンプレイス
ビヤステーション
会費 六、〇〇〇円 事前振り込み制
締切 7月末
案内状の送付 会報に同封

最後に、来る母校創立100周年事業への支援や、東京自彊会としての協力方法等については、今後の役員会での協議事項とすること、次回役員会の開催日時などを決定しました。

美術科支部

鷲森智美(高38回)

平成26年6月29日、明石高校資料館にて、第8回同窓会美術科支部総会を開催いたしました。ご多用の中、会場までご参集下さり本当にありがとうございます。



明石高校資料館 総会会場

議長進行のもと、議案として、新役員の選出、活動報告及び計画、会計報告美術科画報発行の検討、連絡配信やSNSの利用について、出席者の承認を受け、また、今後の会費納入のお願いをどうするかなど話し合いました。

当日は、「美術科同窓会展2013」の話で、盛り上がりました。沢山の先輩方や懐かしい方との写真をスライドショーで楽しみ、実際に展示されていた「明石高校美術科クロニクル」を展示し、改めて、作品の素晴らしさを再認識いたしました。

10年後の高校創立100周年でもこれまで以上の作品が展示される、記念すべき美術展が開催されますことを心から願っております。

また、現役高校生の活躍も年々素晴らしく、今年で第30回を迎えた「明石高校美術科展」でも900人ほどの来場者にご覧いただき、今後の発展も期待しています。



最後になりましたが、美術科支部活動にご理解を賜り深く感謝いたします。また、ご支援いただき本当にありがとうございます。

平成27年度同窓会美術科支部総会のご案内

下記にありますように、第9回総会を開催いたしますので、多数ご出席いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

期日 平成27年7月4日(土)
時間 13時30分より
(受付は13時から)
場所 明石高校 資料館

- 平成27年度同窓会美術科支部役員表
- | | | |
|-----------|------|--------|
| 会長 | 鷲森智美 | (高38回) |
| 副会長 | 谷本智研 | (高44回) |
| 副会長 | 稲葉秀展 | (高44回) |
| (副会長) | 阿随敬祐 | (高39回) |
| (副会長) | 東陽 | (高39回) |
| 副会長 | 津上恵子 | (高40回) |
| 副会長 | 井藤里子 | (高52回) |
| 副会長 | 佐藤津子 | (高39回) |
| 副会長 | 岡村若千 | (高39回) |
| 顧問 | 岡村若千 | (高39回) |
| 幹事・運営スタッフ | 岡村若千 | (高39回) |



原田の森ギャラリー会場

部活動 同窓会だより

野球部OB会

大塚 弘一 (高15回)

OB会会長交代

石橋力会長(高13回)が一身上の都合により辞任の申し出があり、役員会、5月総会で新会長に、吉川一幸氏(高18回)が選ばれました。高木名誉会長ほか役員は留任し引き続きOB会運営に当たります。

高校野球部OB対抗戦

【第10回ゴルフ甲子園大会】団体優勝!

元高校球児が各母校単位で8名がダブルペリア方式で、上位5名の合計ネットスコアで争う大会。H26年は5月より予選(60チーム)/8月25日決勝(22チーム)がよみうりCCで開催された。PLからは桑田氏も参戦し、関学/育英/滝川/三田/上宮/鹿児島県連合など有名校が競い合った結果。明石高校OBは5月の予選をトップ通過、決勝も2位育英に僅差勝ちで団体優勝した。また、個人戦では大皿賀詔氏(高43)が2位に、会長の吉川一幸氏(高18)が7位と優勝に

貢献した。また、予選/決勝を通じての最優秀選手には事務局の大塚弘一氏(高15回)が選ばれた。この結果は読売新聞/報知スポーツ紙に掲載され、インターネット/スマートフォンでもゴルフ甲子園でアクセス出来ます。この強運を是非とも現役に受け継いで貰いたいものと期待しております。



PL学園高校OBの桑田真澄さんも出場



写真左から 池内/大塚/藤村/穂原/木村/木戸/大皿/吉川会長 各氏

バスケットボール部OB会

和田 直樹 (高28回)

千支も一周して再開12年目になりましたOB会の活動報告をさせていただきます。

今年度も3月16日に66回生の祝卒業OB会歓迎食事を開催し、5月4日にOB総会現役親睦会を、8月16日にカーニバルを開催いたしました。特に今年は参加率もよくOB現役合わせて総会親睦会には96名、カーニバルには89名が元気な顔を見せてくれました。いや、嬉しい!

また若いOBも適齢期を迎え26年度は7名、27年度も既に3名の結婚報告がありました。本当におめでとございます。出来れば君達の子供達もバスケットをやった明高に来て欲しいものですね。そうなれば、嬉しい!

そして年が明け風温む3月15日、67回生の祝卒業OB会歓迎食事を卒業生25名全員と祝いに駆けつけてくれたOB12名の合計37名で開催することが出来ました。これも過去最高であります。こうやって1年1年が巡っていくのですなあ。いや、嬉しい!

また毎週土曜日は明高体育館で午後六時よりOBの練習も行っています。若手から50オーバー(チヌで言ったら年無しですな)までバラエティーにとんだメンバードやってますので一度覗いてみてください。今年度は特に50オーバーのスーパーシニアチームが兵庫県で3連覇、全

国大会でも3位と頑張っています。いや、嬉しい!
・・・、あとは現役が強くなるだけですね。いや、ちょっと悲しい。



陸上競技部OB会「韋駄天会」

森 聡 (高30回)

明石高校陸上競技部韋駄天会は、昨年50周年という節目の年を迎えました。昨年も主な活動として、現役部員に対して競技場使用料、必要な用具の購入等の支援の他、現役部員との交流を図ることを目的とした交流会の実施、練習の指導、各種表彰等行い、年が明けて1月には、恒例のOB総会兼懇親会を開催しました。

現役部員の方は、昨年、西脇工業、須磨学園、報徳学園等強豪ひしめく兵庫の中長距離種目において、実に30年ぶりに近畿インターハイ決勝にまで駒を進め、全国インターハイ出場こそ成りませんでした。明石高校陸上競技部ここに在り！という活躍をしてくれました。また、他の種目においても、応援に行った私達OBを喜ばせてくれる場面が増えたように思います。

今後も、OBと現役部員の絆をより一層深め、現役部員が頑張れる環境作り、OB会として、精一杯努力していくつもりです。



明中・明高ゴルフ会

藤原 福正 (高13回)

今年のゴルフ会は昭和53年卒(明高30回)の方々をはじめ多くの初参加者を迎え、春・秋ともに50名を超える盛会となりました。これまでのコンペは交通の便および参加者の大半が高齢者であることを考慮して、「垂水ゴルフ倶楽部」で開催してきましたが、来年からは春は「垂水ゴルフ倶楽部」、秋はその他でといった案も出ています。



第85回 特別表彰



第85回19番ホール

コンペ開催は平日(原則4月第2木曜日)および10月第3木曜日)ですが、事情の許す方は奮ってご参加ください。本会に関するお問い合わせは、新常任幹事の永井久夫(電話・FAX 078-936-0460)まで。本年の開催ならびに上位入賞者等は下記の通りでした。

- ◎第84回コンペ 平成26年4月10日(木) 垂水ゴルフ倶楽部 51名参加
- 優勝：藤井 丘 (高10回)
- 準優勝：立田 理 (高18回)
- 3位：吉川 尚三 (高6回)
- ◎第85回コンペ 平成26年10月8日(水) 垂水ゴルフ倶楽部 53名参加

高13回生ゴルフコンペ

井上 昌俊

平成26年5月20日、13回生の「第11回喜春(きはる)会ゴルフコンペ」が城山ゴルフ倶楽部で16人の愛好家が参加して行われた。上位の成績は次のとおり。



- 優勝：藤井勝(ゲロス91、ネット74)
 - ▽2位：金井俊介(ゲロス96、ネット76)
 - ▽3位：矢藤勉(ゲロス97、ネット77・8)
- 今年9月22日に行う。どなたでも参加大歓迎。

高13回 関東同窓会

松本 慎二

野球殿堂博物館など見学
好天に恵まれた平成26年10月9日、首



東地区同窓会 小石川後楽園

都圏在住の19名(男性11名、女性8名)が参加して、水道橋駅の東京ドーム併設の野球殿堂博物館見学から始まりました。ここでは野球の歴史や話題性の高い資料の中に、明石中学―中京商業25回戦の記録や楠本保投手に授与されたブロンズ盾を見つけ誇らしく感じました。平成26年夏の全国軟式高校野球50回戦の明石球場のスコアボードも永久保存されています。また、日本球界の名投手に對峙するビデオシミュレーションマシーンでは女性参加者1人が快打するというお見事がありました。

次に隣接する文京区シビックセンターの25階展望台から、富士山やスカイツリー等を眺望、椿山荘の昼食を美味しくながら、和やかに近況を交換しあいました。健康の話、孫の話、様々なことに取り組んでいる話などで盛り上がりました。

最後に、次回同窓会を埼玉で開催することを決めて流れ解散しました。多くの人は近接の旧・水戸藩中屋敷の小石川後楽園を散歩して、少し早い紅葉を愛でつつ、帰路につきました。

なお、記念の集合写真には、早く帰った男性2人は写っていません。



自彊セミナー報告

難関私大、公立大を見学

6大学のオープンキャンパスなどに114人

「自彊セミナー委員会」は26年も在校生の大学オープンキャンパス見学を実施した。1、2年生の早い段階で生徒に関心が高い近隣の難関私立大、公立大を見学し、一足早く大学の施設を確認、雰囲気を感じてもらおう、という企画。例年どおり参加費用を安くし、貸し切りバスで訪問した。

見学した大学、日時、参加者数、引率は次のとおり。大阪市立大学は、オープンキャンパスの日(8月9日)に台風11号が接近したため中止し、改めて「大学祭」に初めて参加した。オープンキャンパス、大学祭とも学習の一環としてとらえ、制服での参加とした。

〈関学大〉8月2日、20人、吉田眞司事務局長、丹野孝広講師

〈関大↓関学大〉8月3日、37人、草川雄二参与、伊川美智子常任理事、前田浩人教諭

〈同大↓立命大〉8月3日、20人、和田直樹副会長、佐々木卓郎常任理事、羽深健治教諭

〈関大〉8月4日、15人、岩澤武常任理事、友國仁男常任理事、山本和也教諭
〈武庫川女大〉8月15日、9人、今村意一郎常任理事、吉田信次常任理事、東田純一教諭

〈大阪市大〉11月3日、13人、竹内信六会長、鷲森智美常任理事、櫻井寛員教諭



同志社大学



大阪市立大学



立命館大学



関西学院大学



武庫川女子大学



関西大学

明高の更なる発展を願って

第22代校長 濱田浩嗣(高25回)



明石海峡大橋を眼下に望む自彊が丘に悠然と立つ我が母校。桜が咲き誇り、もうすぐ第70回生を迎える頃となりました。

自彊会員の皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。私は、母校の校長として教員生活の最後の2年間を勤めさせて頂いた頂きました。離任を間近に控え、誇りに思うとともに、大変ありがたいことだったと感謝しています。

一昨年度は、明高にとっては大変喜ばしい年となりました。それは、創立九十周年記念式典を厳肅な雰囲気の中、盛大に執り行うことができたからです。そのおり私は、式辞等の文案を考えるため、過去の周年記念誌を読み返しました。その中で、改めて開校当時の苦労を知るとともに、創立以来、脈々と受け継がれてきた伝統の校訓について考えさせられる良い機会となりました。大正十二年、明石中学校は、明石市民

の情熱により誕生したとあり、市の予算と市内出身の篤志家の寄付で財源を確保し、県立農学校の実習地跡に校舎が建ちました。そして、迎えられた初代校長は、山内佐太郎先生でした。兵庫県揖保郡出身の山内校長は、京都、千葉、岡山中学校長を歴任され、四十七歳という働き盛りの先生でした。その山内校長が発表されたのが、現在も受け継がれている不滅の大校訓でした。

「本校教育ノ主義ヲ実現センガ為『自彊不息』ノ正気ヲ以テ左ノ三綱領ノ徹底ヲ期ス」

「自治・協同・創造」

山内校長は、「我々は、自治によりて生活の内容を充実し、他と協同して意義ある社会生活をなし、進んで創造工夫の開かんとする。これが明中の根本精神である。」と言っておられました。その後、太平洋戦争終結となり、新制高等学校になった現在もこの校訓は脈々と引き継がれ、その精神を守りつつ実践されています。

生徒は、『自彊不息』の精神を礎にして、文武両道を掲げ、勉学と部活動を両立させ、全国・近畿大会への出場、生徒会が主体的に企画・運営する明高祭や体

育大会の実施など、先輩・後輩がお互いに高め合う姿勢で取り組み、素晴らしい成果をあげています。

2年間はあっという間に過ぎ去ってしまいました。本年度から新通学区域(明石、加印、北播が同一学区)による複数志願選抜入試が始まりました。中学生にとって明高は、これまで以上に魅力ある学校、地域に信頼される学校であることが望まれていると思います。現在、生徒や先生は何事にも意欲的に取り組んでいます。その結果、進学実績は着実に成果をあげてきています。しかし、やり残したことは多く慚愧にたえません。本校が一層輝きを増すような取り組みについては、これからが正念場であると思っています。一步一步着実に前進し、確実に伝統の明高は復活するものと確信しています。

私は、明高によって育てられ、今も学んでいます。これからも生涯学び続けようと思っています。母校には感謝の気持ちでいっぱいです。

自彊会員の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願いいたしますとともに、母校の更なる発展を祈念し離任の挨拶とさせていただきます。



明高のすばらしさ

岸上郁夫



9年前にこの明石高校に着任した時に、温かく迎え入れられた記憶が今でも鮮明に甦ります。

61、64、67回生のいわゆる「青学年」で担任から主任まで経験させて頂いた頂きました。入試制度が総合選抜制度から複数志願制度に変わる中で、学校もより良い方向に変わってゆくのを実感しました。

明高を離れてみて改めて、明高のすばらしさを実感します。明石海峡大橋の見渡せる風光明媚な景色、校内の樹木や花のある環境、立派な講堂、太陽光が多く入ってくるように設計された校舎、大らかな校風、同窓会主催のさまざまな取り組み等。

この9年間の在職期間中には様々な先生や生徒との出会いがあり、いろいろと考えさせられ、学ぶべきことが多くありました。

このことを今後の教職生活に活かしていけたらと思います。

最後に、明石高校と同窓会の皆様の益々の発展とご健勝をお祈りし転出の挨拶とさせていただきます。

美術科の「思い」と「想い」

横山 正明



美術科の教員として14年間明石高校に勤務させていただきました。この間、入学者選抜制度

が総合選抜から複数志願選抜に変わり、学区再編で新学区が適用されるなど学校を取巻く状況は大きく変化してきました。この世代とともに明石高校生徒の変遷に自らがひとつの歯車となって動かしてきたことに、今、ひとつの達成感を味わっています。

上り坂あり、下り坂あり、水溜りあり、砂利道あり、分かれ道あり、行止りあり等々、普通科と美術科を両輪として歩んできたその道のりは語り尽くせないほどの物語がありそうです。

私は明石高校に美術科が創設される年に他校で教員として採用され、明石高校美術科の時間とともに教員生活の年月を重ねてきました。14年前に明石高校に赴任してきた時は初めからいたような親しみを覚えたのを思い出されます。

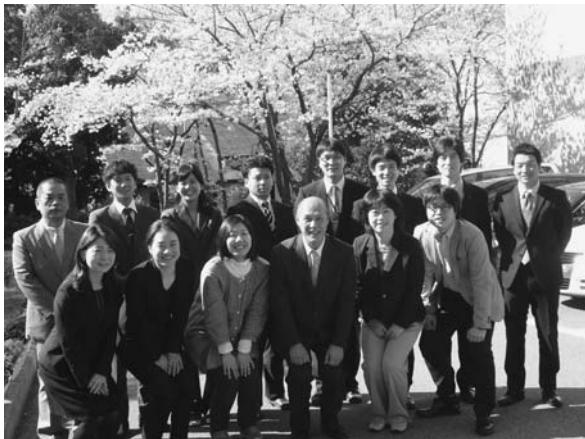
芸術・美術における社会の位置は年代とともに大きく変化し、絵を描いたり彫刻する力は、現在、社会の中心で重要な役割を担い広く貢献するものとなりました。専門美術の教育は、今や「美術の出来る人を育てる」のではなく「美術の力

ようこそ明高へ！

桜が咲き誇るこの季節は、ご尽力いただいた先生方との別れとともに、これから明高で活躍いただく先生方との出会いの時でもあります。

創立92年を迎える母校は、伝統校としての良さと同時に、改善すべき点も多々あるのではないかと思います。新たに着任いただいた諸先生方に新風を吹き込んでいただくことが、母校の飛躍・発展につながることを思います。在校生（後輩）へのご指導、よろしく申し上げます。

を持った人を育てる」ことにあります。美術科は今年30回生の卒業を区切りとして4期目の次の時代に入りました。全国に巣立った卒業生の活躍を目の当たりにし、明石高校美術科の存在感をさらに強く位置づけるものと確信しています。



人事

☆ 転退任 ☆

- 濱田 浩嗣 先生 [校長] (退職)
本城紀代子 先生 [英語] (退職)
横山 正明 先生 [芸術] (再任用退職)
岸上 郁夫 先生 [英語] (県立芦屋高校へ)
神尾 浩史 先生 [数学] (加古川西高校へ)
羽深 健治 先生 [理科] (豊岡高校へ)
林 友哉 先生 [数学] (三田西陵高校へ)
細目まどか 先生 [体育] (私立へ)
出井 里実 先生 [養護] (こやの里特別支援校へ)
上村 晃代 先生 [事務] (高砂南高校へ)
川端 美鈴 先生 [事務] (神戸高塚高校へ)
田中 裕保 先生 [事務] (尼崎北高校へ)
橋本 仁美 先生 [事務] (宝塚西高校へ)

異動

☆ 着任 ☆

- 永井 邦治 先生 [校長] (明石南高校より)
本城紀代子 先生 [英語] (明石高校より)
田中 稔大 先生 [英語] (県立芦屋高校より)
宮田 圭子 先生 [数学] (東灘高校より)
上田 修平 先生 [芸術] (有馬高校より)
中江 涼 先生 [理科] (東灘高校より)
後 勇至 先生 [数学] (新採用)
衣川 恵 先生 [英語] (新採用)
辺見 翔太 先生 [国語] (新任)
石垣 寛大 先生 [数学] (新任)
村岸幸太郎 先生 [体育] (新任)
田中 涼子 先生 [事務] (神戸高塚高校より)
清見 奈央 先生 [事務] (県教委より)
岩谷 紳代 先生 [事務] (視覚特別支援校より)
喜多 孝浩 先生 [事務] (西宮香風高校より)
船守 直子 先生 [事務] (新任)

平成26年度決算報告 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1 一般会計		(単位：円)	
(収入の部)		予算額	決算額
1	平成25年度繰越金	3,067,834	3,067,834
2	平成26年度年会費納入金	5,300,000	5,502,000
3	財政調整基金より	4,500,000	4,200,000
4	雑収入(ご寄付、銀行利息等)	10,000	286,015
合 計		12,877,834	13,055,849
(支出の部)		予算額	決算額
1	会議費(総会・理事会・本部役員会等)	850,000	753,196
2	事業費(母校・学年等への支援・広報活動等)	9,050,000	8,249,100
3	事務費(事務局・維持管理等)	2,950,000	2,826,916
4	予備費	27,834	0
5	次年度繰越金		1,226,637
合 計		12,877,834	13,055,849
2 基金		(単位：円)	
		(収入の部)	(支出の部)
①	財政調整基金		
	平成25年度繰越金	2,086,261	
	在校生納入	4,244,000	
	銀行利息	9,187	
	一般会計へ繰り出し		4,200,000
	次年度繰越金		2,139,448
合 計		6,339,448	6,339,448
②	自彊セミナー特別基金		
	平成25年度繰越金	2,522,285	
	銀行利息	591	
	活動費(大学見学バス借上げ料等)		421,832
	次年度繰越金		2,101,044
合 計		2,522,876	2,522,876
③	100周年記念事業特別基金	316,038	316,038
3 監査報告			
平成26年度の決算について、会計帳簿および関係書類を監査照合した結果、適正に処理されていることを確認しましたので報告いたします。			
平成27年4月7日		監査	前川 利一 印
		監査	加護谷榮章 印

平成26年度事業報告

月	内 容	月	内 容
4	第1回本部役員会 第1回理事会	9	第3回本部役員会 第2回自彊セミナー運営委員会
5	会報第22号発行	10	第4回本部役員会 第2回理事会
6	第2回本部役員会 平成26年度総会・懇親会(於グリーンヒルホテル明石)	11	自彊セミナー「大阪市立大学」見学 自彊セミナー「全統模試」(3年第2回)
7	第1回自彊セミナー運営委員会 自彊セミナー「代ゼミ模試」(3年第1回)	1	第5回本部役員会 第1回会報編集委員会
8	自彊セミナー「関西学院大学」見学 自彊セミナー「関西学院大学・関西大学」見学 自彊セミナー「同志社大学・立命館大学」見学 自彊セミナー「代ゼミ衛星夏期講習」開始 (対象3年生) 自彊セミナー「関西大学」見学 自彊セミナー「武庫川女子大学」見学	2	第6回本部役員会 第2回会報編集委員会 第67回生同窓会入会式
		3	第3回理事会 第65回生成人記念同窓会 自彊セミナー「代ゼミ衛星春期講習」開始 (対象2年生)

岩本守由	水落省巖	門田正春	桜井俊彦	中学16	長澤	雪永登	石本清八	中学15	西村清之	中学14	呉田幸五郎	前田房夫	中学13	大村和臣	辻村治	中学12	井上虎男	鈴木繁喜	中村利秋	岡田秋	中学11	松村博行	中学9	中戸資富	中学8	三浦正	中学2	お悔み			
山口義薫	馬場伸治	須賀正雄	石川正讓	高校1	鈴木木讓	笹尾月能文彦	併設1	池内晃太郎	佐々木昭	中学20	笹井義秀	甲谷保	中学19	橋本文勝	流郷寛	戸田穰	松田義穰	中学18	神澤輝雄	斎藤正優	勝原一彦	村上坊夫	平野義和	中谷保博	深澤高博	日下部嘉謙	中学17				
関矢高子	岡本英高	松浦智恵子	荒木弘司	高校8	大黒博司	高校7	原川慧之	北川隆美	横田美子	高校6	西尾直佳	高校5	小田富也	市川修	高校4	林昭六	方原君巧	石井哲夫	梅田一雄	鈴木浩治	津々真子	土田久恵	仲村敏甫	菅谷周二	亀師裕茂	津野晴	岡野喜		高校3	中津信	
濱田洋子	河合省造	古賀町子	政武生	高校15	卜部正章	高校14	金政勝子	西海孝雄	北垣宏郎	井上次郎	徳山嘉一	池内浩之	高校13	安井久子	高校12	大原紀久男	工藤剛裕	高校11	阪田伊孝	黒田美紀	鞍田佳子	高校10	平田貞一郎	小田晴信	高校9	本岡秀一	永井洋保		石井昭保	井上富士子	新井寿子
ご冥福をお祈り致します。			判明分) (4月30日までの 謹んで、故人の	石田祥二	高校40	河井敬良	三木智栄子	高校30	稲垣マヤコ	森垣稔	高校29	黒木久哲	田中義	高校28	白井裕二	高校25	鈴木敏夫	信本均	高校19	長谷川良彦	桜井正己	鈴木木子	北村牧行	高校18	稲村和美	株本晃也	西嶋平和				

同窓会役員				
<p>会長 竹内 信六(高13回)</p> <p>副会長 安藤 勉(中18回) 嘉藤 弘之(高15回) 伊川美智子(高16回) 和田 直樹(高28回)</p> <p>常任理事 今村意一郎(高16回) 佐々木卓郎(高18回) 長塩 知子(高18回) 岩澤 武(高19回) 藤丸 達美(高21回) 田中 雅子(高23回) 福本 明彦(高30回) 吉田 信次(高31回) 鷺森 智美(高38回)</p> <p>監査 加護谷榮章(高7回) 草川 雄二(高11回)</p> <p>顧問 永井 邦治(校長) 前川 利一(中13回) 岸本 潔(中19回) 越智 聰明(高1回) 秋山 泰治(高1回) 松本 ヤス(高2回) 清水 正孝(高3回) 浅田 弘子(高6回)</p>	<p>茨木 智(高8回) 米澤 淑介(高12回) 三浦 宏(高14回) 松本嘉代子(高16回)</p> <p>学年理事 (中1回) (中3回) (中4回) 松岡 謙治(中5回) 穂原 勝美(中6回) (中7回) (中8回) (中9回) (中10回) (中11回) (中12回) 前川 利一(中13回) 浅田 正行(中14回) (中15回) (中16回) 中尾 和一(中17回) 安藤 勉(中18回) (中19回) 杉山 清巳(中20回) 竹原 學(高1回) 浅田 博(高2回) 桃尾 行男(高3回) 渊上 初美(高3回) 赤松 信(高4回) 向井 勝夫(高5回) 密谷 和正(高6回) 高德 雄三(高6回)</p>	<p>安藤 博美(高7回) 伊藤 雅子(高7回) 石井 清隆(高8回) 堤 明(高9回) 小山 孝治(高10回) 藤原 博(高10回) 柳瀬 弘(高11回) 佐々木伸一郎(高12回) 西川 真澄(高13回) 井上 健(高13回) 谷川 博男(高14回) 谷口 卓海(高14回) 手塚佳世子(高14回) 津野 弘子(高15回) 岡本 建二(高16回) 奥田 寛(高17回) 佐々木卓郎(高18回) 岩澤 武(高19回) 井上 利夫(高19回) 川井 功一(高19回) 尾谷三枝子(高19回) 池田 隆行(高20回) 藤丸 達美(高21回) 池内 満(高22回) 南谷 雄司(高23回) 高木 文雄(高23回) 田中 雅子(高23回) 河合 昭彦(高24回) 瀬川勝太郎(高25回) 上山 宏(高26回) 永井 邦治(高27回) 坂東 英敏(高28回) 小椋 利雄(高29回)</p>	<p>福本 明彦(高30回) 吉田 信次(高31回) 三木 翔理(高32回) 戎 義弘(高33回) 堀田 健一(高34回) 井上利可子(高35回) 石下 景教(高36回) (高37回) 西川 昌宏(高39回) 北山 力也(高40回) 梅田 光一(高41回) 谷口 正晃(高42回) 高雄 正臣(高43回) (高44回) 本田 学(高45回) 敷内 健吾(高46回) 西山 武(高47回) 澤田 雅文(高48回) (高49回) (高50回) 芝 純司(高51回) 木村功太郎(高52回) 小島 一朗(高53回) (高54回) 橋本 真彰(高55回) 村中 裕(高56回) 西角 千尋(高57回) 山本 芳行(高58回) 佐藤 匠(高59回) 竹内 裕貴(高60回) 和田 亮磨(高61回) 西山 直幸(高62回)</p>	<p>中下 将太(高63回) 小柴 智弘(高64回) 櫻井 拳人(高65回) 山内 圭哉(高66回) 平田茉莉香(高67回)</p> <p>兵庫県庁支部 田中 敬一(高26回)</p> <p>神戸市役所支部</p> <p>明石市役所支部 前田 豊(高29回)</p> <p>淡路支部</p> <p>東京支部 野呂 良久(高14回)</p> <p>美術科支部 鷺森 智美(高38回)</p> <p>事務局 木下 裕一(高15回) 吉田 真司(高21回) 本城紀代子(高25回) 寺口 吉行(高34回) 角野 友昭(高42回)</p> <p>本部役員及び監査は 総会で承認いただく 予定です。</p>

同窓会入会あいさつ

平田 茉莉香 (高67回)

春の訪れを感じ始めた今日この頃、私たち67回生はこの明石高校を卒業いたしました。在学中は、先生方はじめ、まわりのたくさんの方に支えられながら、高校生活を送ることができました。同窓会の方々からもさまざまな点でお世話になり、感謝しています。私たち67回生はこの伝統ある明石高校同窓会(自彊会)に入会することになります。私たちは、まだまだ未熟です。どうか同窓会の諸先輩方、私たちを温かく、そして厳しくご指導ください。

これからは、それぞれ違う進路を進むことになりませんが、明石高校の卒業生として、また、明石高校同窓会会員として、誇りを持って生きていこうと思います。



事務局よりお願い

- ① 転居されたときには新任所をお知らせ下さい。
 - ② お亡くなりになった方の連絡については、間違い防止のため、ご逝去の年月日を必ずお知らせ下さい。
 - ③ 学年全体の同窓会を開催される場合、支援金をお渡しします。代表者の方は事務局へご連絡をお願いします。
 - ④ 事務局が常駐でないため、電話が繋がらないことも多いと思います。住所変更等の連絡は、ファックスが一番確実です。(FAX 〇七八一九一三六五五四)
 - ⑤ 同窓会運営の資金源である年会費の納入に、ご協力をお願いします。お手数ですが郵便局ATMのご利用をよろしくお願いいたします。
- ※ 手数料(同窓会負担)
郵便局(窓口130円・ATM80円) コンビニ108円

明高36回生同窓会開催

日時：平成27年8月15日(土)
時間：15時～18時(受付14時15分)
場所：ホテルキャスルプラザ(西明石)
会費：8,000円

開催実行委員：浅田、浅野、浅野(財田)、石井、石下、入江、榎原、大倉、金谷、小坪(丹治)、小引、小引(小林)、高島、長澤(坂本)、松尾(野島)、橋本(豊根)、藤澤、山下、米根

住所変更等は、
女性 akashi36girls@gmail.com 高島、
男性 akashi36boys@gmail.com 榎原まで。

編集後記

同窓会は何のため？何かの役に立つの？
若い人たちがよく出る質問です。また外国人、特に欧米人は特別な学校でない限り同窓会はしないようです。この4月に卒業45年後、初めての大学同窓会を開催しました。大学近くの温泉に一泊、翌日は母校の見学という70歳近くの爺さんには多少ハードルの高い設定でしたが、約半数の同窓生が参加して大いに盛り上がりました。約40年間、高度成長の推進役として気を抜くこともできないビジネスマン生活から抜け出した団塊の世代にとって、何ら利害関係のない同窓生との交流は楽しく、気が休まるものです。

若い世代にとっても同窓会は決して後ろ向きな、昔を懐かしむだけの集まりではないはず。学生時代に純粹な心で付き合った友との会話によって、仕事で行き詰った悩みが開けたり、新しい人脈が築けたりするチャンスもあると思うので、若い人達も是非同窓会を開催して下さい。企画立案には同窓会本部もお手伝いします。
本号の表紙のテーマは中部講堂としました。1956年完工以来約60年、多くの入学生を迎え卒業生を送り出し、今も変わらぬ威容を保つ唯一の建物です。外観は変わりませんが内部は天井落下防止の防災工事が予定され安全性は向上します。完成時の文化祭で演劇部の黒川先生監督による坂田三吉の「王将」の劇に当時小学校低学年の筆者は子役で出演したことを思い出しました。(卓)



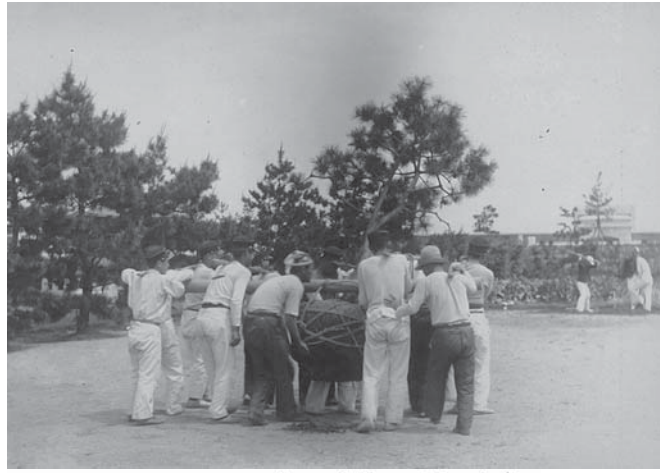
採收スレバ スグ耕耨



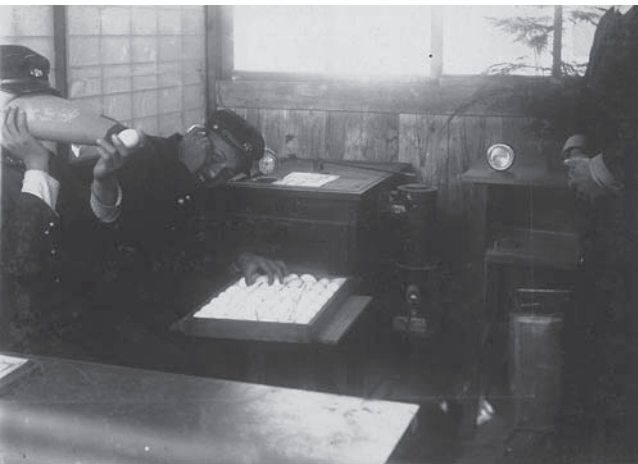
罐詰作業 四年農科生



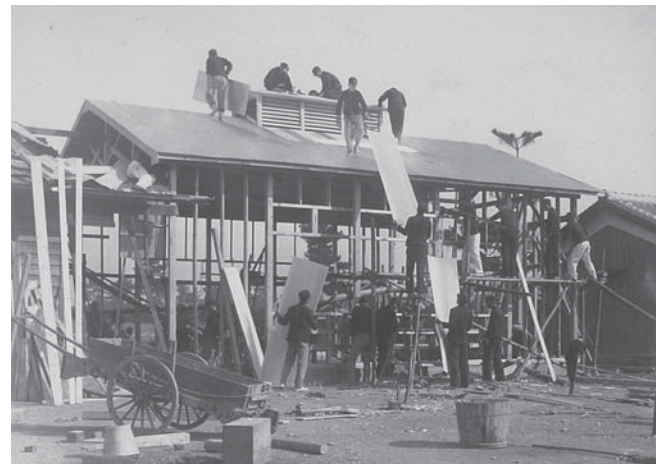
夏休ミ中ハ毎日当直教員指導下ニ奉仕作業ヲ行フ
雑草菱除キ



ヨイサ<ト庭樹ノ移植



ヒィヒィ聞エルゾ 孵卵廿日



建築ノ手傳 屋根ふき



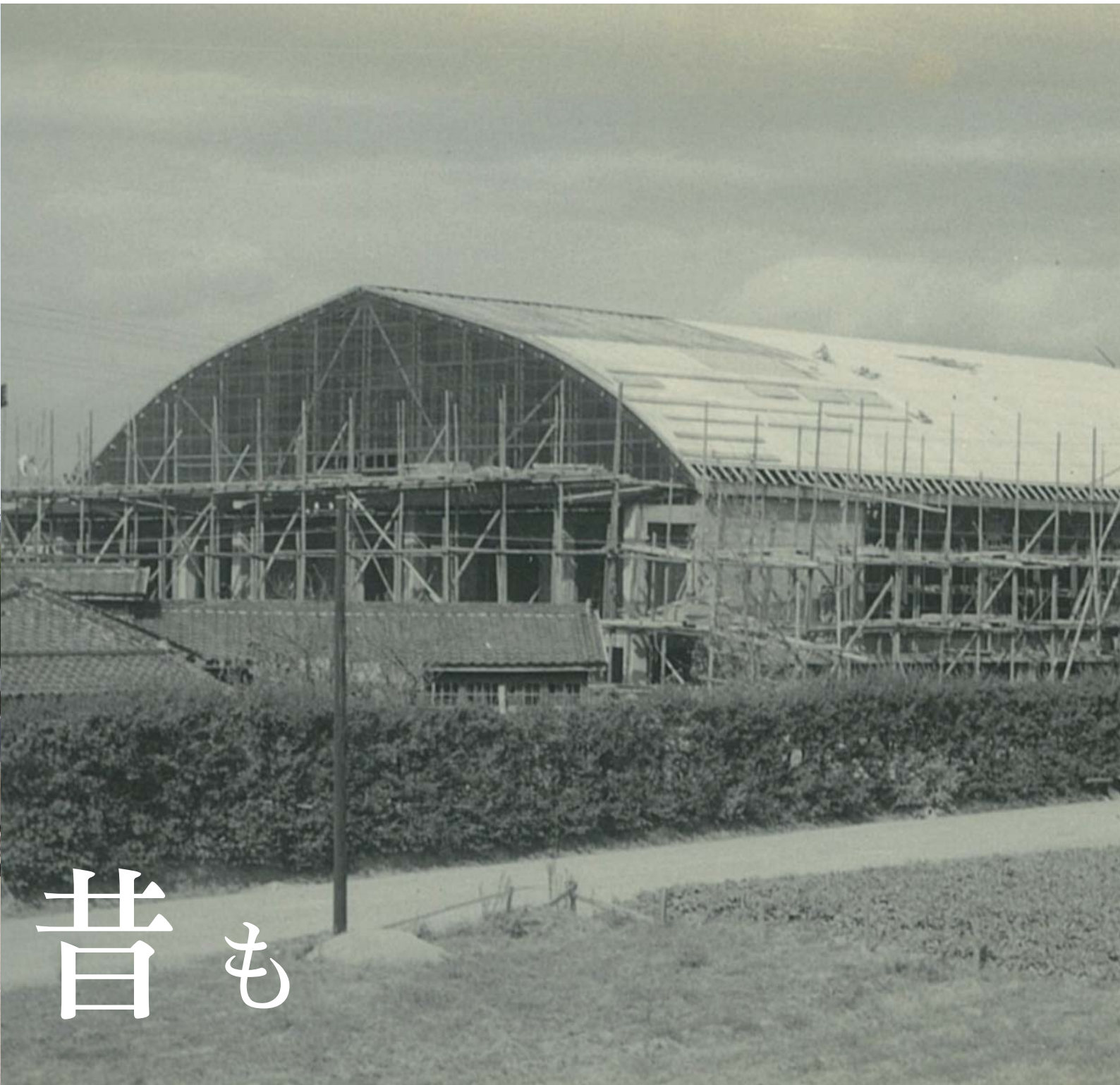
アルバム「労作生活」より

労作生活とは、初代校長山内佐太郎先生による明中教育の特色である体験労作の教育の中で名付けられたものである。

この作業教育は頭脳の養成に力をつくすと同時に、頭脳活動そのものを我々の全身に表現し実行するように導く教育であった。

昭和3年度から全校生に作業科を課し、農業園芸実習地や農業館、工業館などの設備も整備され行われた教育は、今日の「勤労体験学習」の先駆けとなった。

表紙裏の蜂蜜のラベルはそこで生まれた自強ハチミツのもの。



昔も



(自彊蜂蜜ラベル)

発行：県立明石中学校
県立明石高等学校
同窓会（自彊会）
明石市荷山町1744番地
078 (913) 6554
印刷：（有）木下ブンセイ出版印刷